上尾市立芝川小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

○進んで学ぶ子
○思いやりのある子
○たくましい子

学校課題研究主題

「自分自身で考え、伝え、主体的に学ぶ児童の育成」

学力・学習状況調査の結果

R８全国学力・学習状況調査	R８埼玉県学力・学習状況調査	R７ 上尾市立小・中学校学力調査
・平均正答率は、全国平均よりも国語は６％、算数は１％高い。 ・国語の、引用して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題の正答率が低い。 ・算数では、異分母の分数の大小について、自分の考えを記述する問題の正答率が低い。	・学力レベルの平均は、県の平均と同等、もしくは１レベル高い。 ・学力を伸ばした児童の割合は、埼玉県の平均を５年生は上回り、６年生は下回った。 ・４・５年生では、努力調整方略の数値が県平均を上回っている。 ・どの学年も作業方略の数値が県平均を下回っている。	・国語、算数ともに、教科全体の評価は目標値と同等、もしくは上回っている。 ・国語では、どの学年も、文章を書くことに課題がある。 ・５・６年生の算数では、分数のかけ算とわり算に課題がある。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①様々な言葉を知り、活用する力 ②文の構成を理解する力 ③応用問題に対応するために必要な基礎的・基本的な力 ④情報を整理する力	⑤適切な言葉を使用し、伝えたい内容を明確にし、適切に表現する力 ⑥見通しをもち筋道を立てて考察する力 ⑦身についた知識や技能から応用できるものを適切に選び、考えを導き出す力	⑧あきらめず、最後までやり遂げる力 ⑨他者との違いを認め、気付いたことを自らに生かす力 ⑩協働して活動する力

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
・辞書を活用し、言葉に注目した授業を実施する。 ・授業で振り返る時間を確保し、授業内容の確実な定着を図る。 ・自主学習を推進し、復習でのさらなる習熟を図る。 ・ＩＣＴ端末を活用し、必要な情報を集める活動を取り入れる。	・ねらいに応じた学習形態の工夫と伝え合う場を設定する。 ・見通したり、予想したりする時間を確保し、全員に自分の考えをもたせる。 ・伝える相手を考えた表現の仕方を工夫させる。 ・自らの考えを書く機会を増やし、児童同士互いに見合う活動を取り入れる。	・学習規律について、定着するまで繰り返し指導する。 ・あきらめず考える姿勢を身に付けさせるよう指導する。 ・意見の交流や議論など、対話的な学びを適宜取り入れる。 ・協働的な学習を取り入れ、児童同士が高め合える授業を展開する。

本校の特色ある取組	家庭教育との連携
・一部教科担任制の実施 ・ICT 端末を効果的に用いた授業 ・外部機関との連携、地域の教育力の積極的導入 ・幼保小連携の充実　・小中一貫教育の充実	・家庭学習の充実 ・ホームページの充実による地域住民への情報発信 ・ＩＣＴ端末使用のルールやマナーの家庭との共有 ・地域連携による学校環境の整備 ・学習ボランティアの活用